工事関係者・建物関係者の皆様へ

その火花、火災につながりませんか？



工事中・作業中の防火管理を徹底しましょう！

溶接・溶断・グラインダー等の火花を発する作業では、
思わぬ場所から火災が発生するおそれがあります。

特に注意！ FRP製品・樹脂製品・養生シートなどへの着火

火花は作業場所から離れた場所にも飛散します。可燃物の裏側や隙間に入り込んだ火花が、火災の原因となることがあります。



作業前・作業中・作業後の確認ポイント



1 作業前：火災の原因を取り除く

- ☐ 周囲や火花の飛散・落下する範囲に**可燃物**がないか確認する。
- ☐ FRP製品、樹脂製品、養生シートなどを除去するか、適切に遮へいする。
- ☐ 消火器等を準備し、すぐ使える状態にする。
- ☐ 作業責任者及び作業中の監視担当者を明確にする。



2 作業中：火花から目を離さない

- ☐ 火花の飛散方向や周囲の状況を監視する。
- ☐ 異常や着火のおそれがあれば、直ちに作業を中止する。
- ☐ 必要な監視体制を確保する。



3 作業後：最後まで確認する

- ☐ 作業箇所だけでなく、火花が飛んだ範囲も点検する。
- ☐ 可燃物の裏側や隙間などに、残火やくすぶりがないか確認する。
- ☐ 必要な監視・再点検を行い、火災の早期発見に努める。



火災を防ぐのは、作業に関わる全員です。

作業場所の安全を確認できない場合は、作業を開始・継続しないでください。
火災を発見した場合は、安全を確保し、**119番通報**してください。



川越地区消防局 予防課 ☎ 049-222-0744

火災予防条例等の確認・指導については、
各署指導課にご相談ください。